

1971

デイヴィッドとジニー・アデルスハイムが、まだブドウ栽培地として確立されていなかったオレゴン州北ウイラメット・ヴァレーに、約7.7ヘクタールの土地を購入。

1972

最初のブドウを植樹。品種はリースリング、シャルドネ、ピノ・ノワール。

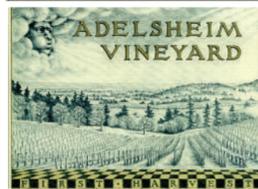


1973

デイヴィッドがオレゴン州の厳格なラベル表示規定の初稿を執筆（1977年に正式承認）。また、ヤムヒル・カウンティの丘陵地帯を農地として守る活動にも尽力。

1974

デイヴィッド・アデルスハイムがフランス・ボースのリセ・ヴィティコール（ワイン学校）で研修。その滞在中に、ガメイ・ノワールやピノ・ブランを含む新たなクローンのオレゴン送付を依頼。これらはアメリカで初導入。



1978

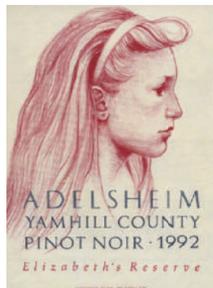
クォーターマイル・レーンから初の商業ヴァンテージをリリース。アデルスハイムは、シュヘイラム・マウンテンズにおける初のワイナリーとして地位を確立。

1982

オレゴン・ワイン growers 協会を代表し、デイヴィッドがATF（アルコール・タバコ・火器局）に対し、ウイラメット・ヴァレーおよびアンブクア・ヴァレーのAVA設立申請を執筆。

1984

デイヴィッドがオレゴン州立大学のデイヴィッド・ヘザーベル博士とともに、ブルゴーニュから初の“ディジョン・クローン”を導入する取り組みを開始。オレゴンのワイン業界に革命をもたらす。



1986

代表作“エリザベス・リザーヴ”を初リリース。ヴェロニク・ドルーアンがアデルスハイムで収穫に参加。インターナショナル・ピノ・ノワール・セレブレーションの創設ワイナリーとなる。

1987

デイヴィッドがロバール・ドルーアンのオレゴン進出を支援し、後の伝説的ドメーヌ・ドルーアン・オレゴン誕生の一助となる。

1988

アデルスハイムの自社畑にカルキンズ・レーンとブライアン・クリークを追加。



1993

カルキンズ・レーンの畑に最先端のワイナリーを建設（第一期）。



1994

ジャック&リン・ロアカー夫妻がアデルスハイムと出会い、後にワイナリーのパートナーとなる。

1996

リボン・スリボン・スプリングス・ヴィンヤードを植樹し、自社畑をシュヘイラム・マウンテンズ内のリボン・リッジAVAへと拡大。



2000

第一回オレゴン・ピノ・キャンプに参加。デイヴィッドは共同代表として開催に大きく貢献。

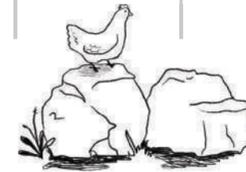


2002

デイヴィッドがシュヘイラム・マウンテンズAVAの設立申請書を執筆（2006年に正式認定）。

2003

ボールドー・ブラフが自社畑に加わる。デイヴィッドがオレゴン・ワイン・ボード設立にも主導的役割を果たす。

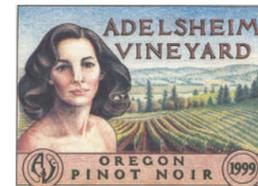


2008

すべての自社畑がLIVE（Low Input Viticulture and Enology）認証のサステナブル認定を取得。ワイナリー施設も認証第1号グループに。

2010

ジニー・アデルスハイムによる“ウイラメット・ヴァレー”ワインの肖像画ラベルが終了。



2012

デイヴィッド・アデルスハイムがオレゴン・ワイン・ボードから生涯功労賞を受賞。

2015

新たなプログラムとして“ブレッキング・グラウンド・ピノ・ノワール”を初リリース。シュヘイラム・マウンテンズの3種の主要土壌を反映したワイン。翌2016年には姉妹ワイン“ステーキング・クレーム・シャルドネ”も登場。



2017

アデルスハイムがワイン & スピリッツ誌の“トップ100ワイナリー”に7度目の選出。所有権が長年のパートナー、ジャック&リン・ロアカー夫妻に移行。ケリ・グレゴリーがヴィンヤード・マネージャーに就任。

2018

ジーナ・ヘネンが醸造責任者に就任。スパークリングワイン・プログラムが始動（ブリュット・ロゼとブリュット・キュヴェ）。



2019

NBAとの初のパートナーシップを結び、ポートランド・トレイルブレイザーズとの50周年記念ワインをリリース。ケリ・グレゴリーがLIVEの“サステナビリティ優秀賞”を受賞。



2020

ローレル・リーフが自社畑に加わる。NBAスターCJ・マカラムとのコラボワインも発表。



2021

アデルスハイムがシュヘイラム・マウンテンズでの50周年を迎える。



ADELSHEIM

CELEBRATING 50 YEARS 1971 - 2021

